# 西谷文和の――緊急レバノン報告

※写真と文の西谷文和さんは元大阪自治労連の組合員です

イスラエルのミサイルで完全に崩壊した
ベイルート南部ダーヒヤ地区

## イスラエルのクラスター爆弾でレバノン空爆で
## 犠牲者は増え続けている

### 憲法9条の精神こそ殺りくを止める唯一のもの

**ベイルートはすさまじい土煙と瓦礫撤去**

9月25日、私はカタールのドーハ経由でベイルートに入った。イスラエルが発電所を空爆したため時折停電はするものの、市民生活は復活しつつあった。レバノンはモザイク国家で、首都ベイルートにも「キリスト教地区」「イスラム・スンニ派地区」「シーア派地区」などがあり、ダーヒヤという街がシーア派でヒズボラの拠点。

ダーヒヤは労働者の町だ。ヒズボラの議長府がここにあるので、イスラエルの最初のターゲットになった。街の中心部に入ると、すさまじい土煙とブルドーザー、バックホー、ユンボのうなり声。空爆で破壊されたビルを解体し、瓦礫を撤去しているのだ。

議長府は、門だけがポツンと残っている。9・11テロ後、ニューヨークで解体作業に従事した労働者が、肺がんなどの重病に犯されているが、ここでも同じようにならないかと心配だ。

27日、南部レバノンへ。リタニ川を渡るとそこは激戦地だった。今回の取材テーマはクラスター爆弾。国連の「クラスター不発弾除去チーム」と一緒にカブリーハという村へ。

何の変哲もない農家の裏庭。「これがクラスターの子爆弾です。ええ、アクティブ（爆発可能）です。M42という旧式タイプで、イスラエルは地対地ミサイルで撃ってきたのです」。

戦闘機から放たれるタイプは、1発の親爆弾から640個の子爆弾が飛び散り、その内10～15％が不発弾として残る。地対地ミサイルからのクラスターの1発から何と40％が不発弾。

先導者の歩くコースを忠実にトレースする。

「あそこに転がっている」「ここにも」。除去チームがオリーブの木の根元を指差す。これでは恐ろしくて農作業はできない。

29日、南部レバノンでは最も設備の整っているハムード病院を訪れた。サルハさん（50歳）とシャディさん（27歳）は共に農夫。みかん畑でクラスターを踏んでしまった。子爆弾には無数の鉄片が詰まっており、彼らの身体にはその鉄片が突き刺さったまま。「いったい何個くらいの鉄片が？」とたずねると、担当医師は「数えられないよ」。

クラスター爆弾に被弾し、穴があいた足の治療を受けるシャディさん

「今からシャディさんの両足に巻かれたガーゼを取り替え、消毒する」というので、患部を撮影。医師は、患部を固定している金具を持ち上げ手荒な手つきでガーゼを剥ぎ取っていく。シャディさんの足は、骨と筋肉が剥ぎ取られ、穴が開いている。（写真）医師はその穴に遠慮なく消毒液を流し込み、ピンセットで突入した鉄片を取り出そうとする。そのたびに「ドクトール！」と悲鳴を上げるシャディさん。

クラスター爆弾は「非人道兵器」と言われる。8月14日、イスラエルとヒズボラは「停戦」したが、クラスターによって停戦後も犠牲者は増え続けている。「戦争はまだ終わっていない」のだ。

**闘争ではなく、話し合いをの精神を**

イスラエル・アメリカ連合は、今後も「テロとの戦い」を止めようとしないだろう。もちろんヒズボラがミサイルで応戦しイスラエルの民間人を殺害したことについても非難しなければならないが、犠牲者の数が圧倒的に違うのだ。

レバノン人が「イスラエルに報復を」と叫ぶ時、私は暗然たる気持ちになる。「報復すれば、またその何倍も殺されてしまうよ」と。

「戦争ではなく話し合いを」「もう戦争はしない、武器は持たない」という日本の憲法9条の精神こそ、これ以上の殺戮をストップさせる唯一の方法だと思うのだが……。

**新語十番勝負**

**岐阜県裏金問題**

岐阜県庁では、架空の出張旅費を請求するなどの手口で、昭和40年代から裏金づくりが行われていました。2001年には当時の副知事の指示で、監査の対象にならない岐阜県職員組合の口座に裏金が集約され、その金額は1億5000万にも。職員の懇親会費用にも使われ、焼却・廃棄されたものもあるといいます。今年に入って裏金の実態が発覚し、梶原拓知事は辞任、9月に第三者機関の検討委員会が報告書を提出し、知事の重大な責任を指摘しました。



## ちょっと見て観て

**劇 時伝人『希求座』**

第９回新作大阪公演

原作・脚本／小熊人史　演出／竹林義高

**あの子が死んだ朝**〔二幕〕

**エルおおさか大ホール**（エルシアター）☎06-6942-0001

京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車、西へ500m

2006年11月25日（土）14時開演 18時開演
26日（日）14時開演

大人 2,500円／障害者・高・学生 1,500円
保育あり（要予約）

お問い合わせ　「あの子が死んだ朝」観る会
大阪労連　530-0034 大阪市北区錦２-２ 国労大阪会館（TEL06-6353-6421・FAX06-6353-6420）

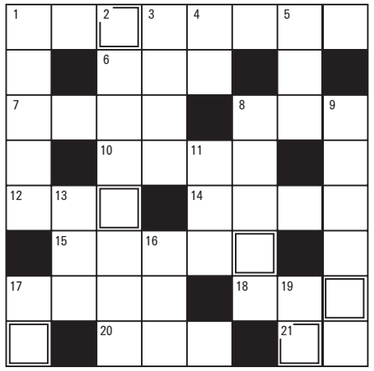
## ニュース笑アップ

芸風☆友徹

## クロスワードパズル

（解き方）二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。

出題者：山本汎昭さん



ヒント：１面の中にあります

**タテのカギ**

❶食品等の冷却・保存に用いる
❷妻が作ってくれる弁当
❸行きなれている場所
❹しみったれなこと。○○な人
❺引かれ者の○○○
❸コスモスの和名
❾熱した小石に埋めて焼いたサツマイモ
⓫↔内野
⓭引っ込みがちな気質
⓰首の長い動物
⓱ひらかなとかたかな
⓳能ある○○は爪を隠す

**ヨコのカギ**

❶見合い結婚？　いいえ
❻生きた動物の血
❼追加して印刷すること
❸値段、数値。○○○を求めよ
❿樹木を植え並べた垣
⓬実るほど○○○を垂れる稲穂かな
⓮店先で酒を飲ませる酒屋
⓯珍しい客
⓱漢字の○○○は苦手だ
⓲はだかのからだ、裸身
⓴スエズ、パナマ…
㉑○○がネギを背負ってくる

**応募の方法**

ハガキに「解答」「組合名（職場名）」「氏名」「住所」を書いて、送ってください。また、ハガキの余白に紙面の感想、職場のできごとや近況などをひとこと書き添えていただければうれしいです。解答者の中から5人に図書カードをおくります。「声」は「読者の声」として紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。掲載分についても図書カードをおくります。

**送付先**
〒530－0041 大阪市北区天神橋1丁目13－15 大阪グリーン会館4階　大阪自治労連「おおさか自治体の仲間」編集部

**応募の締め切り　11月30日**
**正解と当選者の発表　2006年12月号の紙面に掲載**

**8月号の解答**

「フーテンノトラサン」

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| サ | ト | ウ | キ | ビ | バ | タ | ケ | |
| ノ | ウ | キ | | ヨ | | ラ | ン | |
| ウ | ニ | | ゴ | ウ | テ | イ | | |
| | ヨ | カ | | シ | ン | マ | イ | |
| ノ | ウ | ゼ | イ | | シ | ワ | | |
| コ | ビ | | シ | キ | | シ | カ | |
| ギ | ヨ | ウ | | フ | ロ | | ラ | |
| リ | ウ | マ | チ | | ケ | ー | ス | |

**8月号クイズの正解と当選者**

2006年8月号「クロスワードクイズ」の正解は「フーテンノトラサン（フーテンの寅さん）でした。各職場から52通の解答をいただきました。つぎの5人のみなさんに図書カードをおくります。▼河野三千代（岸和田市職労）▼久米盛次（東大阪市職労）▼梶村のり子（大阪府職労）▼池田隆司（堺市職労）▼山本大輔（大阪市役所）

## 単組ニュース

**大阪自治労連関連評議会**

### 秋季年末のとりくみで討論集会

大阪自治労連関連評議会は10月4日に大阪グリーン会館で、2006年秋季年末闘争討論集会をひらきました。集会には「大阪府内の関連労働者の団結で、2006年人事院勧告の波及を許さず、雇用をまもり、均等待遇の実現を」のスローガンのもとに、70人が参加し、この秋季年末のとりくみについて学習と活発な討論を行いました。秋季年末のとりくみ重点として、「国民投票法案、教育基本法改悪阻止、憲法をまもり生かす大運動を」「総人件費削減、格差拡大推進の2006人事院勧告に真正面から立ち向かう」「均等待遇を掲げ、仕事と生活の実態を全面に押し出してたたかう」の三点を確認しました。

熱心に討論する参加者

**新語十番勝負**

**法テラス**

全国各地で国民が気軽に法律サービスが利用できることを目的にした「日本司法支援センター」が10月2日からスタートしました。この愛称が「法テラス」。「法で社会を照らす」という意味をこめています。東京に本部、全国に78の地方・支部事務所があります。主な業務は、①民事裁判費用などを立て替える民事法律扶助、②犯罪被害者支援、③容疑者、被告に対する国選弁護、などとなっています。